

【報道関係各位】

若手OLのオフィスファッション調査

変化するオフィスのドレスコード 「会社の服装は自由(規定なし)」44%
イマドキ若手OLの通勤服「キャミソール」「ナマ足」「ジーンズ」も6割以上がOK!
オフィスファッションのお手本 トップは「ファッション誌」55%

2006年9月5日
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル(本社:東京都港区、社長:福羽泰紀)は、東京都在住20~25才の若手女性会社員を対象に、「OLのオフィスファッション調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2006年8月22日(火)~8月23日(水)。有効回答数は309名から得られました。

※今回の調査では、10年前のオフィスファッション事情と比較するため、東京都在住の30~35才の女性会社員を対象に「10年前のオフィスファッションに関する意識調査」(有効回答数は103名)を同手法にて実施し、比較参考データとして、結果を引用しています。

【調査結果概要】

【1】変化するオフィスのドレスコード 「会社の服装は自由(規定なし)」44%

東京に住む20~25才若手女性会社員(OL)に、職場に制服があるか、または服装に関する規定(ドレスコード)があるか尋ねたところ、「制服および規定がある」23%、「制服はないが規定はある」32%に対し、44%が「制服も規定もない(自由)」と回答しました。

一方、30~35才の女性会社員に10年前の職場での服装規定はどうだったか尋ねたところ、「制服および規定があった」52%、「制服はないが規定はあった」16%、「制服・規定はなかった(自由)」31%という結果でした。

10年前と比べると、「制服および規定がある」は約30ポイントも減少し、「制服・規定なし(自由)」は10ポイント以上増加しており、制服や規定の廃止などを背景にOLのオフィスファッションの自由化が進んでいる状況がわかりました。

【2】イマドキ若手OLの通勤服「キャミソール」「ナマ足」「ジーンズ」も6割以上がOK!

「普段の通勤服」(取引先との面談等フォーマルなシーンを除く)ではどのような服装が容認されているか、服装別に「差し支えない」という回答を比較しました。現在と10年前を比較して10ポイント以上の差が見られたのは、「キャミソール」「素足(ストッキング着用なし)」「ジーンズ」で、現在では6割以上が「差し支えない」と回答しています。これまで、通勤服として一般的にはNGと考えられてきた服装が、TPOによっては「差し支えない」または「着こなしによっては差し支えない」服装として徐々に容認されており、オフィスファッションのカジュアル化が進んでいる様子が伺えます。

【3】オフィスファッションのお手本 トップは「ファッション誌」55%

オフィスファッションのお手本にしている人・ものを尋ねたところ、1位は「ファッション誌」(55%)、2位「街にいる同年代の女性」(36%)、3位「ショップのディスプレイ」(28%)という結果でした。10年前に「お手本にできるものはない」という回答は29%だったのに対し、現在では17%に減少。代わって「ファッション誌」は40%から55%と15ポイント以上増加し、現在では過半数以上にお手本とされています。現代若手OLにとって「ファッション誌」は欠かせない「お手本」となっているようです。

「若手OLのオフィスファッション調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法:	インターネットリサーチ
調査地域:	東京都
調査対象:	20～25 才の女性会社員 (マクロミルモニタ会員)
有効回答数:	309 サンプル
調査日時:	2006 年 8 月 22 日 (火) ～8 月 23 日 (水)
調査機関:	株式会社マクロミル

<比較参考データ> 調査概要

・調査方法: インターネットリサーチ
・調査地域: 東京都
・調査対象: 30～35 才の女性会社員 (マクロミルモニタ会員)
・有効回答数: 103 サンプル
・調査日時: 2006 年 8 月 23 日 (水) ～8 月 24 日 (木)
・調査機関: 株式会社マクロミル

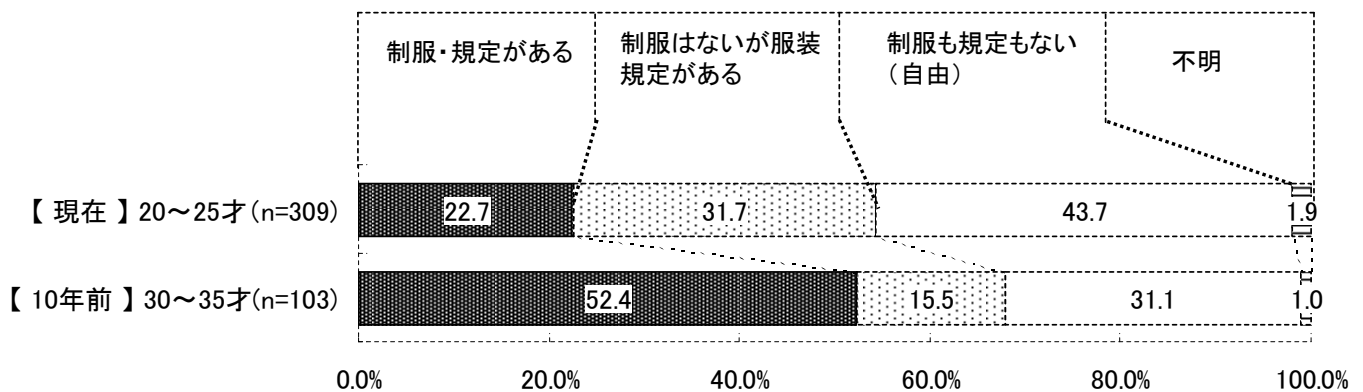
■ 変化するオフィスのドレスコード 「会社の服装は自由(規定なし)」 44%

東京に住む 20～25 才若手女性会社員 (OL) に、職場に制服があるか、または服装に関する規定 (ドレスコード) があるか尋ねたところ、「制服および規定がある」23%、「制服はないが規定はある」32%に対し、44%が「制服も規定もない (自由)」と回答しました。

一方、30～35 才の女性会社員に 10 年前の職場での服装規定はどうだったか尋ねたところ、「制服および規定があった」52%、「制服はないが規定はあった」16%、「制服・規定はなかった(自由)」31%という結果でした。

10 年前と比べると、「制服および規定がある」は約 30 ポイントも減少し、「制服・規定なし(自由)」は 10 ポイント以上増加しており、制服や規定の廃止などを背景にオフィスファッションの自由化が進んでいる状況がわかりました。

Q. あなたの職場には、制服や服装に関する規定(ドレスコード)がありますか？

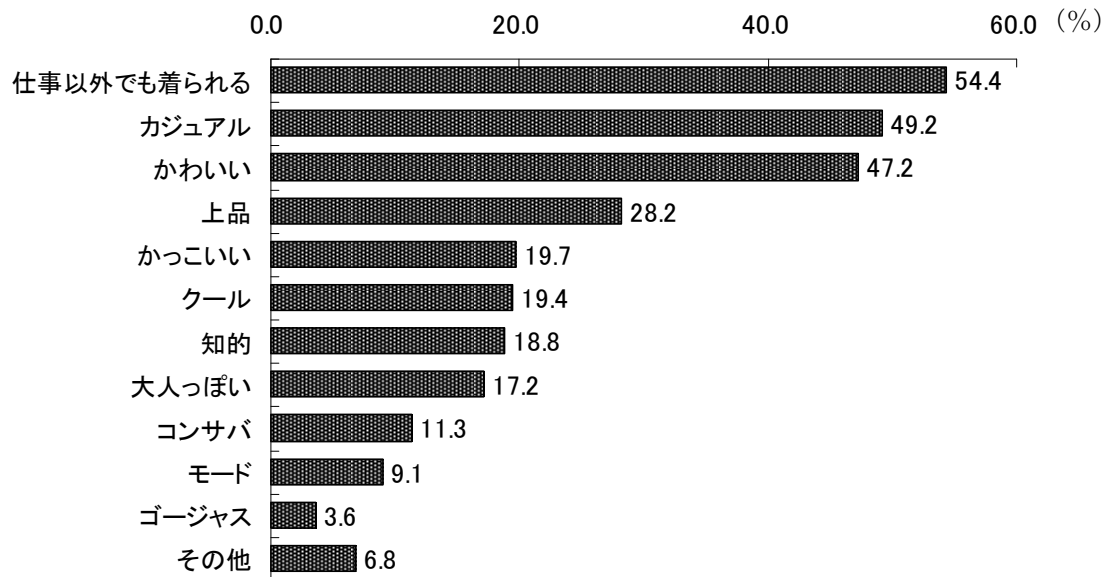


※30～35 才は、10 年前のオフィス状況について質問

■ オフィスファッションに求めるスタイルは？

20～25才のOLに、オフィスファッションに求めるスタイルを尋ねたところ、1位は「仕事以外でも着られる」(54%)、2位「カジュアル」(49%)、3位「かわいい」(47%)となりました。オフィスファッションの自由化(→p.2参照)は、プライベートでも利用できるようなカジュアルさ、かわいさを求める方向へシフトしているようです。

Q. あなたがオフィスファッションに求めるスタイルをお知らせください。
 (複数回答:20～25才 n=309)



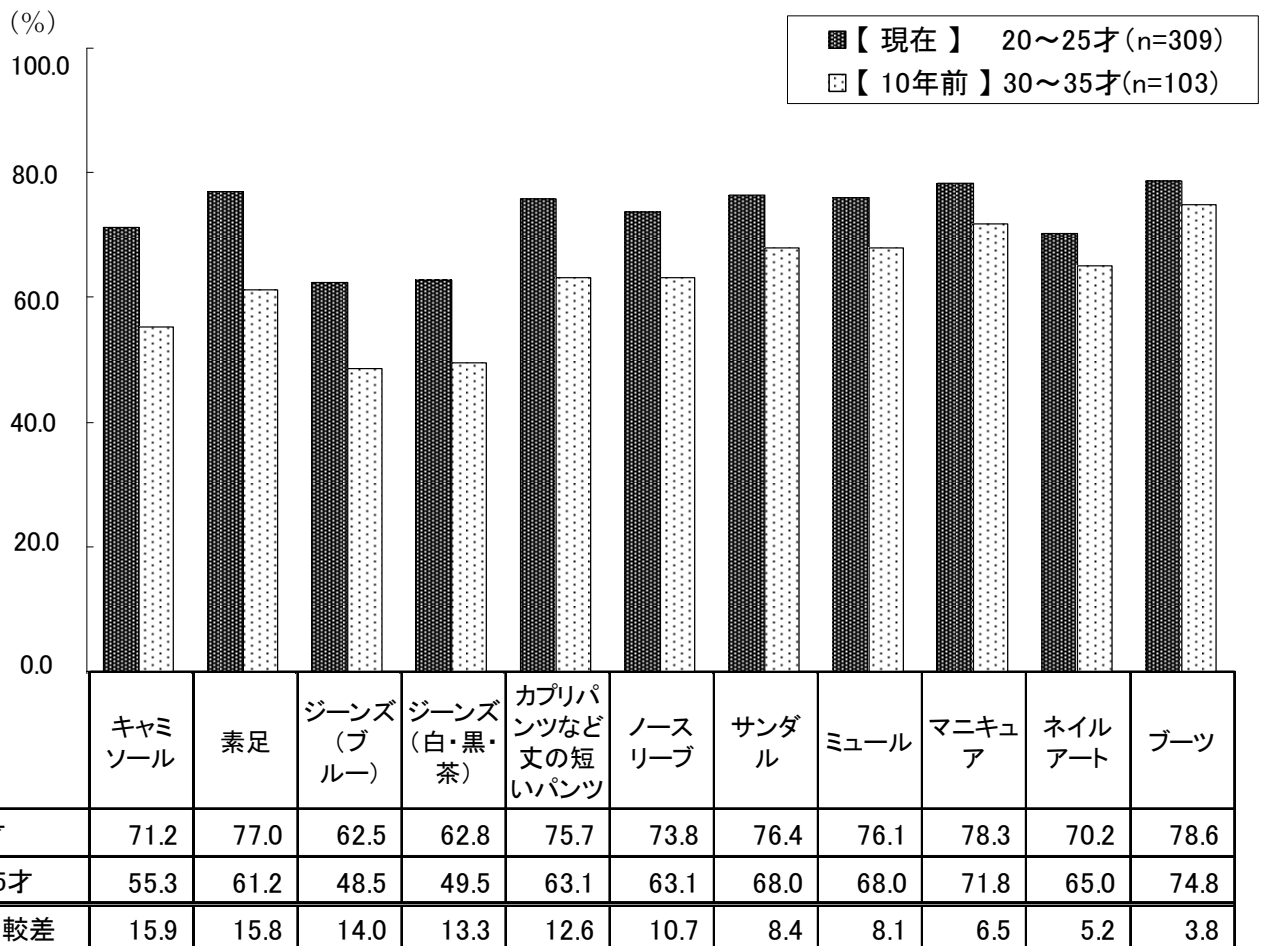
■イマドキ若手OLの通勤服 「キャミソール」「ナマ足」「ジーンズ」も6割以上がOK!

「普段の通勤服」（取引先との面談等フォーマルなシーンを除く）ではどのような服装が容認されているか、服装別に「差し支えない」という回答を比較しました。

現在と10年前を比較して10ポイント以上の差が見られたのは、「キャミソール」「素足(ストッキング着用なし)」「ジーンズ」で、現在では6割以上が「差し支えない」と回答しています。これまで、通勤服として一般的にはNGと考えられてきた服装が、TPOによっては「差し支えない」または「着こなしによっては差し支えない」服装として徐々に容認されており、オフィスファッションのカジュアル化が進んでいる様子が伺えます。

Q. あなたの職場では「普段の通勤服」として以下の服装は許されていますか？
(取引先との面談等フォーマルなシーンを除く)

※「差し支えない」と回答した数値



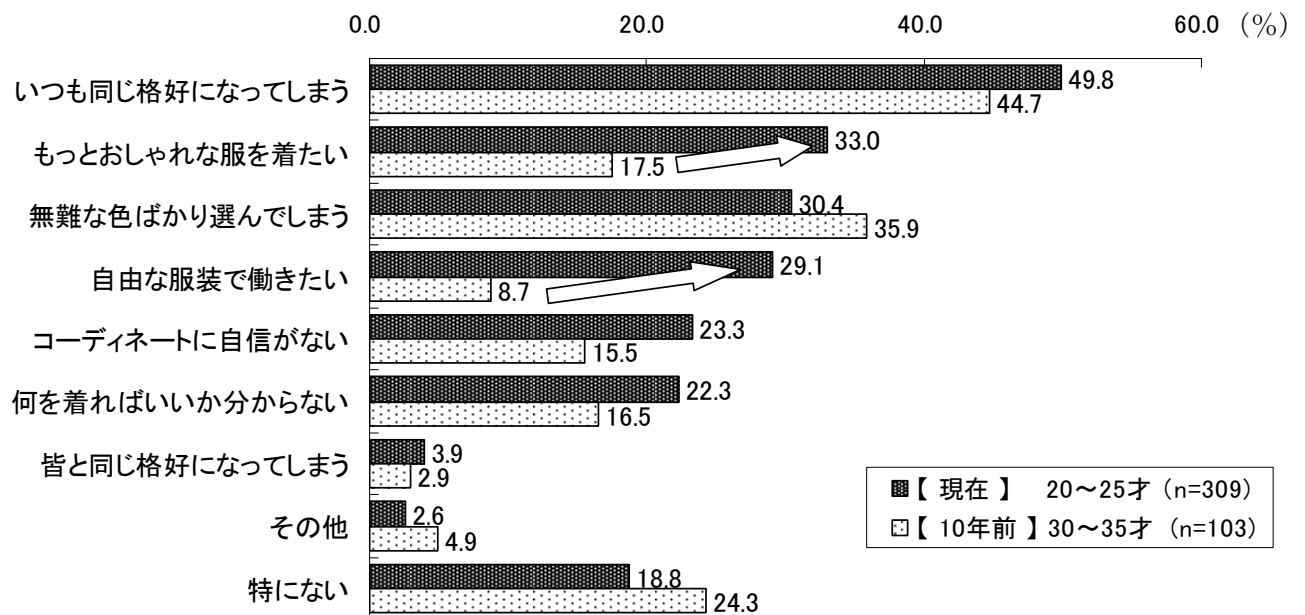
※30～35才は、10年前のオフィス状況について質問
※現在と10年前の比較差で降順ソート

■ オフィスファッションの悩み

オフィスファッションに関する悩みを尋ねたところ、現在の悩みは「いつも同じ格好になってしまう」(50%)が最も高く、次いで「もっとおしゃれな服を着たい」(33%)、「無難な色ばかり選んでしまう」(30%)となりました。

また、「もっとおしゃれな服を着たい」(33%)、「自由な服装で働きたい」(29%)の2項目は10年前と比較すると15ポイント以上高くなっており、「自由・おしゃれ」に対して欲張りになっている現代の若手OLの様子うかがえます。

Q. オフィスファッションに関する悩みとして、あてはまるものをお知らせください。
 (複数回答)



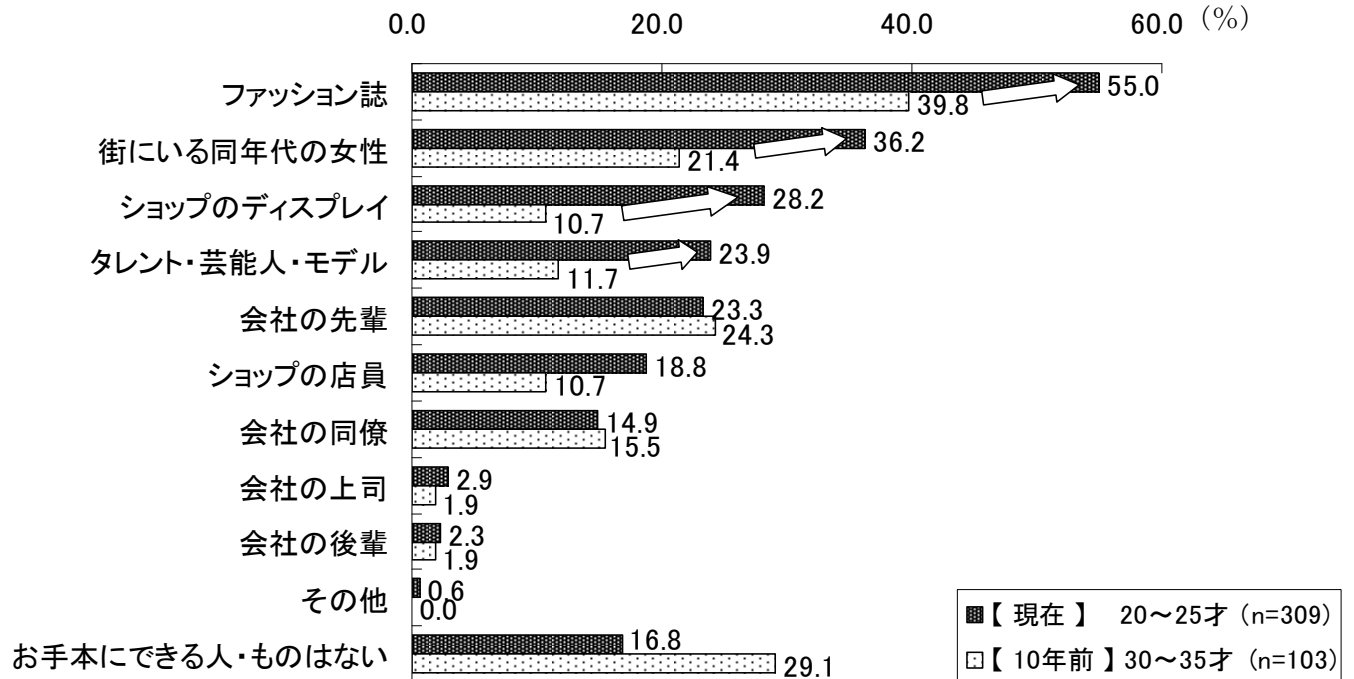
※30~35才は、10年前のオフィス状況について質問

■ オフィスファッションのお手本 トップは「ファッション誌」(55%)

オフィスファッションのお手本にしている人・ものを尋ねたところ、1位は「ファッション誌」(55%)、2位「街にいる同年代の女性」(36%)、3位「ショップのディスプレイ」(28%)という結果でした。

10年前は、「お手本にできるものはなかった」という回答が29%でしたが、現在では同回答が17%と減り、代わって「ファッション誌」(40%→55%)、「街の同年代の女性」(21%→36%)、「ショップのディスプレイ」(11%→28%)、「タレント・芸能人・モデル」(12%→24%)の項目において、「現在」の回答が10ポイント以上高くなっています。とくに、「ファッション誌」は現代の若手OLの過半数以上に「お手本」とされており、オフィスファッションで欠かせない存在になっているようです。

Q. あなたがオフィスファッションのお手本にする人・ものをお知らせください。
(複数回答)



※30~35才は、10年前のオフィス状況について質問

■ オフィスファッションのお手本にしたい有名人 1位は「蛭原 友里」

東京に住む20~25才のOLに、オフィスファッションのお手本にしたい有名人を自由回答形式で尋ねたところ、1位は「蛭原 友里」、2位「篠原 涼子」、3位「山田 優」と続いています。雑誌の人気モデルやテレビドラマでのキャリアウーマン役など、メディアで注目されている旬な女性タレントがイマドキ若手OLのオフィスファッションで参考にされているようです。

Q. オフィスファッションでお手本にしたい有名人をお知らせください。
(自由回答: 20~25才 n=309)

<上位10位まで>

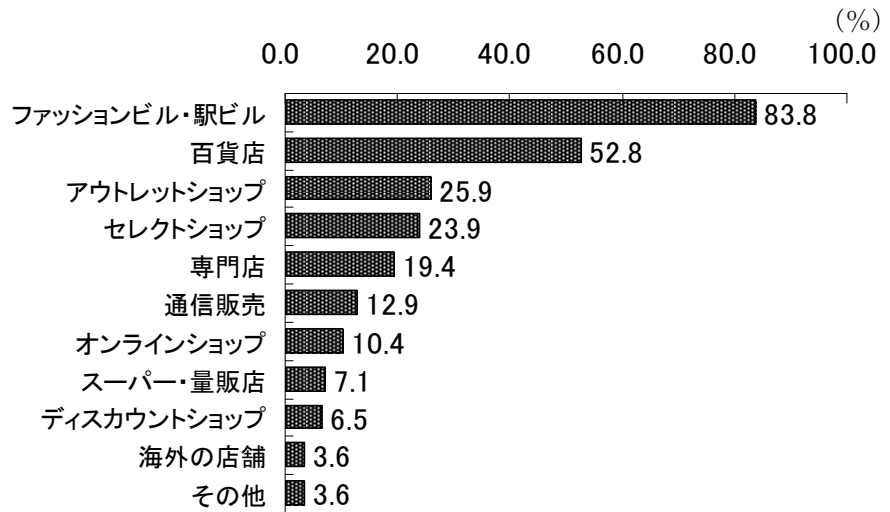
順位	人物名	件数
1	蛭原 友里	20
2	篠原 涼子	18
3	山田 優	16
4	伊東 美咲	9
5	押切 もえ	8
5	松嶋 菜々子	8
7	SHIHO	7
8	梨花	6
8	深津 絵里	6
10	YOU	5

■回答者プロフィール（女性会社員・東京在住・20～25才）

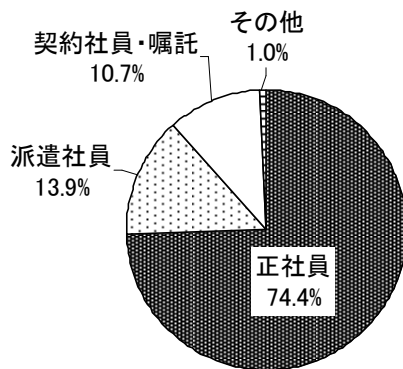
【1ヶ月あたりの洋服代 n=309】

	平均金額
■洋服代全般	19,731 円/1ヶ月あたり
■オフィスでの洋服代	10,609 円/1ヶ月あたり

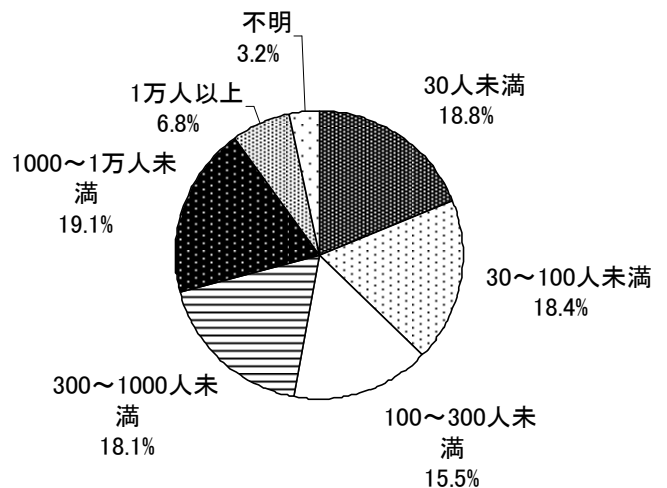
【オフィスのファッションの購入場所 n=309】



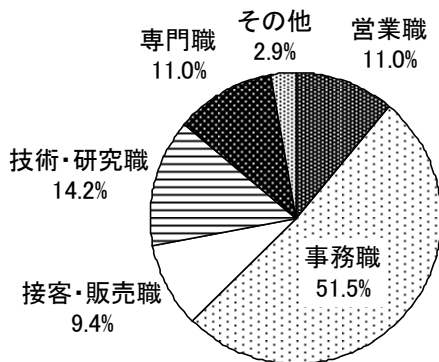
【就労形態 n=309】



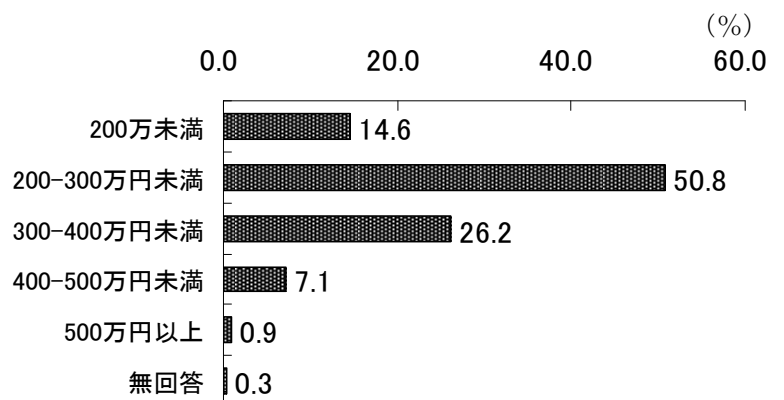
【勤務先従業員規模 n=309】



【職種 n=309】



【個人年収 n=309】



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集める「ネットリサーチ」専門の市場調査会社です。国内 43 万人を超える消費者モニタ会員を対象に低価格・迅速なネットリサーチを提供する「QuickMill」を主力サービスに、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なマーケティングリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル
本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
URL ■www.macromill.com
設立 ■2000 年 1 月 31 日
資本金 ■8 億 9,210 万円 ※2005 年 12 月末現在
上場取引所 ■東証一部 (証券コード : 3730)
代表者 ■代表取締役社長 COO 福羽 泰紀
従業員数 ■149 名 ※2006 年 7 月末現在
事業内容 ■インターネットを活用した市場調査 (ネットリサーチ)

——— 本件に関するお問い合わせ先 ———

株式会社マクロミル 広報担当：西沢・杉山
東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075
TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。
〈例〉「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると…」